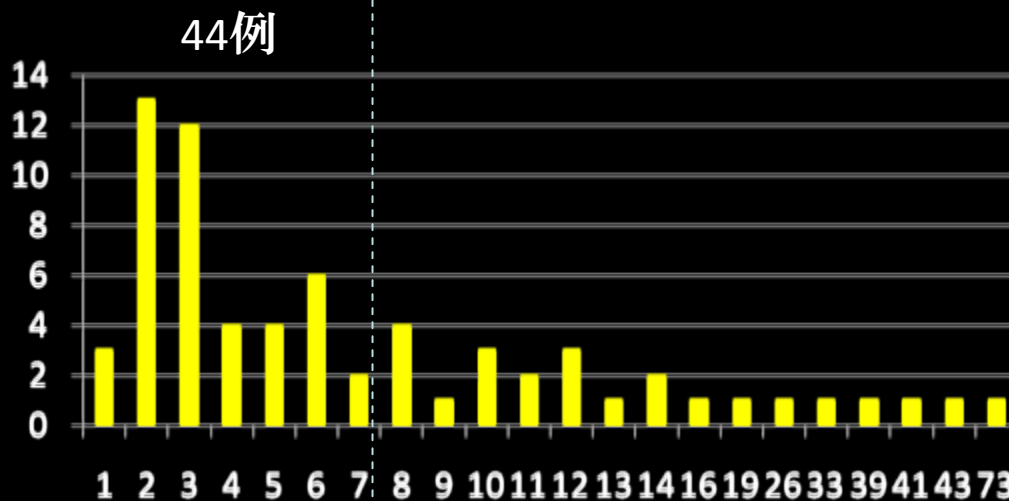


プレホスピタル症例について②

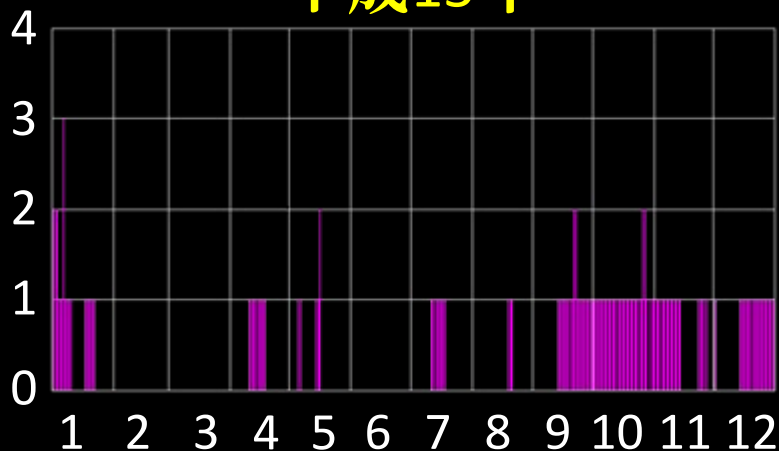
■ 性別 男:女=43:25

■ ICU入室期間

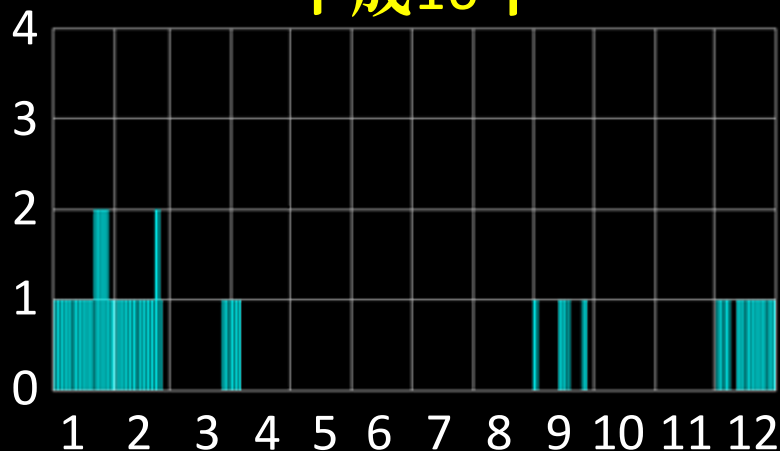


■ ICU入室状況

平成15年



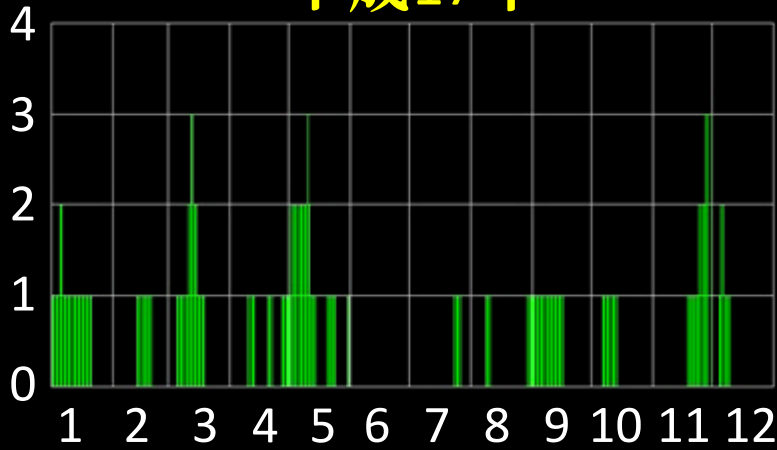
平成16年



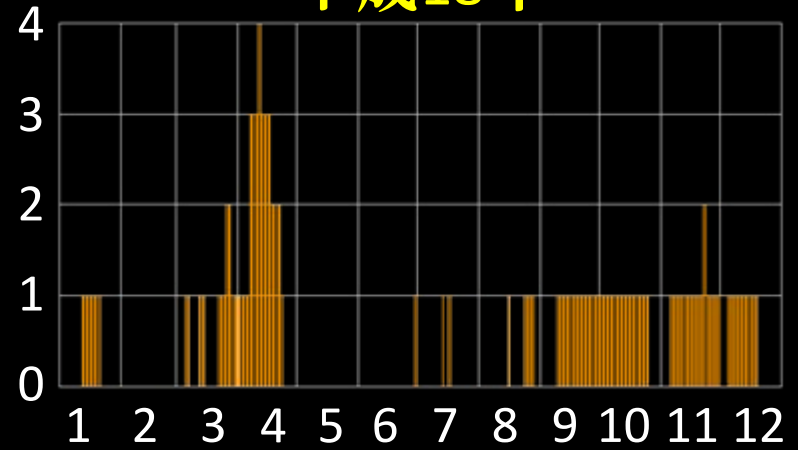
プレホスピタル症例について③

■ ICU入室状況(続き)

平成17年



平成18年



■ 病床利用率

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在院患者延数}}{\text{病床数} \times 365 \text{日}} \times 100(\%)$$

※在院患者延数=1日の在院数を1年間合計したもの

平成15年 57/病床数(%)

平成16年 22/病床数(%)

平成17年 37/病床数(%)

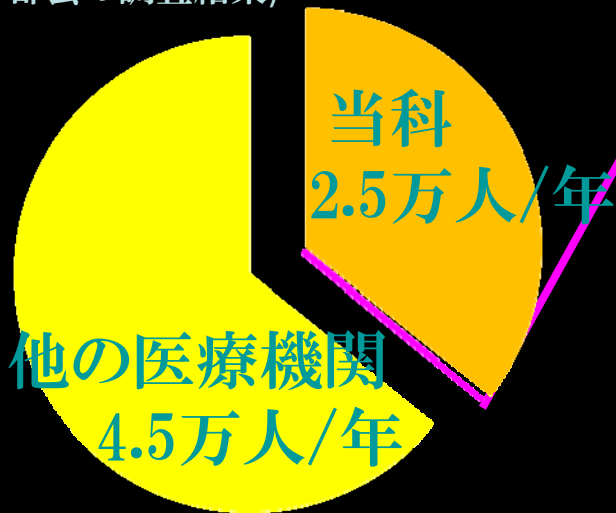
平成18年 51/病床数(%)

1病床の場合は57%
4病床の場合は14%

プレホスピタル領域からのICU入室症例 についての考察

北九州市全体
(対象小児人口15万人)
の時間外小児科受診数
→**約7万人/年**

(北九州市保健福祉局小児救急ネットワーク部会の調査結果)



当科での4年間の状況

ICU入室患児	平均17人/年
病床利用数	最大3-4床
病床利用率	37/病床数(%)



× (7万人/2.5万人)

北九州市全体での推測

ICU入室患児	約48人/年
病床利用数	最大8.4-11.2床
病床利用率	103/病床数(%)

※PICU3床でカバーすると、病床利用率34%となる。